



高齢者等支援団体「健康フラサークル ラウレア」の活動が薬王寺地域ささえあい館で月2回行われ、元気で長生きを合言葉にメンバー11人が練習に励んでいます。

発足したのは、昨年11月同館で行われた「健康フラ講座」がきっかけでした。参加したメンバー有志が講座終了後、鈴木裕恵さんを代表に活動が始まったのです。「ラウレア」という名はハワイの言葉で「幸福・ハピネス」という意味です。

メンバーからは「体を動かして音楽に合わせて踊るのは楽しい」「定年を機に興味をもったので

始めた」「仲間と話ができて楽しい時間を過ごせた」などと好評です。

代表の鈴木さんは「フラは本人も楽しいし、見る人も笑顔になります。ハワイの音楽は癒しの効果もあります。あまり身構えずに気楽に体験してください」と話しています。

今後は高齢者や子育てにかかわる施設などを訪問してフラを披露したいと考えているそうです。さらに、「将来はハワイに行って本場の風を感じたい」と夢が広がっています。

（文・鈴木テル子、写真・江上二三雄）